

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境政策室	事業名	廃棄物処理施設整備費積立事業			
事業概要							
廃棄物処理施設整備費積立							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
廃棄物処理施設の建替等に要する費用を基金に積み立てた。 (1) 令和6年度積立額 公債利子 13,231,213円 預金利子 306,509円 一般財源 800,000,000円 合計 813,537,722円 (2) 令和6年度末基金残額 (R7年度当初基金残額) 5,771,222,807円 (3) 令和6年度取崩額 100,000,000円		決算額 (千円)	600,267	802,262	813,538	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	100.0	99.7	98.3		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		廃棄物処理施設整備に要する多額の費用は、世代間で公平に負担する必要があることから、計画的な積立が求められる。			
						継続	

2	所管室課	事業課	事業名	事業課庁舎管理事業			
事業概要							
事業課庁舎管理							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
事業課庁舎を適切に管理するために、機械警備業務、清掃業務を実施。また、庁舎を適切に維持するための修繕を行った。 修繕件数 令和6年度 6件 令和5年度 9件 令和4年度 12件		決算額 (千円)	21,070	14,634	14,374	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	99.8	99.8	99.8		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		建築後50年が経過し、老朽化が進んでいるため令和7年度から大規模改修を行う予定である。			
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
破碎選別工場	破碎選別工場等基幹的改良事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	512	施策	資源を大切にする社会システムの形成
管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部

3	所管室課	事業課	事業名	動物の死体等収集運搬事業			
事業概要							
動物の死体等収集運搬							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
(1)医療に伴う排出物等収集件数 令和6年度 347件 令和5年度 315件 令和4年度 376件		決算額(千円)	12,680	13,076	13,473	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	87.9	88.0	89.4		
(2)死獣収集件数 令和6年度 ペット 546件 野良猫等 681件 令和5年度 ペット 662件 野良猫等 743件 令和4年度 ペット 593件 野良猫等 778件		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		ペットだけではなく道路上等で死亡している動物も収集しているため、生活環境の保全には欠かせない事業である。				継続	

4	所管室課	事業課	事業名	ごみ減量・資源化推進事業			
事業概要							
公共施設収集運搬委託（水銀使用製品産業廃棄物）、ごみ分別排出啓発、事業所減量・資源化指導							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
(1)蛍光灯及び乾電池の収集量 令和6年度 蛍光灯 1,190.5kg 乾電池 720kg 令和5年度 蛍光灯 1,750.5kg 乾電池 643kg 令和4年度 蛍光灯 2,100.5kg 乾電池 650kg		決算額(千円)	8,640	8,472	7,596	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0		
(2)事業所指導件数 令和6年度 882件 令和5年度 728件 令和4年度 753件		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		水銀使用製品産業廃棄物は、他と混合せずに保管し、破砕せず収集する必要があるため、令和2年度から環境部にて一部を除く公共施設から出る蛍光灯等の一括処理を行っている。事業者が出すごみには資源化可能な紙類が多く含まれているため、資源化に関する情報提供等の啓発が必要である。資源物の持去りパトロールを中断すると持去り業者が増加するため、継続して実施する必要がある。また、持去り業者に対し、効果的な指導方法を検討する必要がある。				継続	
(3)持去り防止パトロール 令和6年度 指導件数 28件 令和5年度 指導件数 26件 令和4年度 指導件数 24件							

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部

5	所管室課	事業課	事業名	家庭ごみ収集運搬事業			
事業概要							
家庭系ごみ収集運搬							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
(1)直営収集量 令和6年度 7,827.9 t 令和5年度 7,849.9 t 令和4年度 8,128.5 t		決算額 (千円)	1,994,398	2,027,681	2,090,957	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	96.1	95.1	95.6		
(2)委託業者収集量 令和6年度 61,356.2 t 令和5年度 61,960.6 t 令和4年度 63,868.8 t		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	
		直営業務では職員がごみ収集を行うことにより委託業者への的確な指導や市民ニーズへの対応が可能となる。また、災害時等にも迅速に対応できるように体制を維持しなければならないため、継続的な職員採用や適正配置が必要である。 委託業務では廃棄物処理法が定める基準に従った契約を締結し、受託者に処理基準遵守を指導している。今後、物価高、人材確保の困難さから、委託料の高騰が課題である。ごみ出しが困難な市民に対する安心サポート収集の更なる周知も必要である。				継続	

6	所管室課	資源循環エネルギーセンター	事業名	資源循環エネルギーセンター管理事業			
事業概要							
資源循環エネルギーセンター管理							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
ごみ処理量 96,615.34t		決算額 (千円)	1,785,936	1,908,707	2,441,619	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	78.6	79.1	77.3		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	
		事業効率の向上に努め、事業手法の検討や事務改善に取り組み、計画的な維持管理を行っている。 現在の事業費は適正であるが、設備の経年劣化等により今後も事業費が増加する傾向にある。				継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部

7	所管室課	資源循環エネルギーセンター	事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業			
事業概要							
大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
(1)大阪湾広域廃棄物埋立処分場への埋立量 3188.4t (2)普通建設事業費(大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業) 6,580千円		決算額(千円)	4,069	5,756	6,580	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	今後の実施計画の方向性・内容	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				継続	
現在の事業の在り方で一定の事業効果は得られているが、処分料金の上昇に伴い今後の廃棄物処理費用が増大する懸念があることから、更なる効率的な運用が必要である。							

8	所管室課	破碎選別工場	事業名	破碎選別工場管理事業			
事業概要							
破碎選別工場管理							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
令和6年度 処理量 14685.01 t 再生資源回収量 8065.19 t		決算額(千円)	467,968	554,956	572,026	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	77.1	69.0	68.2	今後の実施計画の方向性・内容	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				継続	
設備の老朽化対策として、基幹的改良工事を実施し、主要な機器については更新を実施したことで、適切にごみ処理が出来ている。 各機器や、日常の運転により消耗していく部品等については、点検を実施し適宜メンテナンスを行うことで、故障によるごみ処理停止を未然に防止する必要がある。							

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	512	施策	資源を大切に社会システムの形成
管理事業	し尿処理事業	所管部局	環境部

1	所管室課	事業課	事業名	公衆便所管理事業			
事業概要							
高浜神社内公衆便所の維持管理							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
高浜神社内の公衆便所を適切に管理するために清掃業務を実施。		決算額 (千円)	266	252	274	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		高浜神社内公衆便所は、昭和45年(1970年)万博開催に伴い、市内に訪れる方のために設置した。 令和5年度に利用状況調査を実施し、公衆便所と認知されていることが判明したため、市が公衆衛生の向上を目的として適正な維持管理に努める必要がある。			
						継続	

2	所管室課	事業課	事業名	事業課業務グループ庁舎管理事業			
事業概要							
事業課業務グループ庁舎の維持管理							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
業務グループ庁舎を適切に管理するために、機械警備業務、清掃業務、樹木剪定業務を実施。 庁舎を適切に維持するための修繕を実施。 修繕件数 令和6年度 6件 令和5年度 6件 令和4年度 2件		決算額 (千円)	14,902	3,244	8,290	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		建設後49年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、早急な改善が必要である。また、公共施設最適化計画の中で、今後の方向性を検討する必要がある。			
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード 512	施策 資源を大切にする社会システムの形成
-----------	----------------------

管理事業 し尿処理事業	所管部局 環境部
-------------	----------

3	所管室課	事業課	事業名	し尿収集運搬処理事業			
事業概要							
し尿の収集運搬、浄化槽清掃汚泥等の受入							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
し尿は、委託業者による汲取り世帯及び仮設トイレ等の収集運搬を実施。 浄化槽は、許可業者による浄化槽清掃汚泥等の搬入受入れを実施。 (1) し尿収集量 432.00kℓ (2) 浄化槽汚泥等収集量 1,362.27kℓ		決算額(千円)	33,021	33,209	32,860	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		一般財源の比率(%)	87.1	85.7	85.6		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					
		・し尿収集運搬業務は全面委託しており、公共下水道普及により収集戸数が減少しているが、工事現場等の仮設トイレの収集等の需要が見込まれる。また災害時に備えて、継続的で安定的な収集体制の確保が必要である。 ・浄化槽の清掃は、浄化槽清掃業許可業者が行っているが、浄化槽を適正に使用するために、保守点検、清掃及び法定検査受検の啓発を続ける必要がある。					

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容	
		一般財源の比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名

所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	512	施策	資源を大切にする社会システムの形成
管理事業	産業廃棄物対策事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境保全指導課	事業名	産業廃棄物対策事業			
事業概要							
産業廃棄物対策							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
(1)事業場等への立入検査数 令和6年度・・・延べ192件 令和5年度・・・延べ218件 令和4年度・・・延べ183件 (2)産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付等状況報告書の受理数 令和6年度・・・2,066件 令和5年度・・・2,030件 令和4年度・・・1,907件		決算額 (千円)	4,873	4,972	5,796	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	99.8	99.6	99.6		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	
		排出事業者への立入検査や建設現場等 へのパトロールを継続的に実施し、産業 廃棄物の適正処理を確保して、廃棄物処 理法等の目的である生活環境の保全に寄 与している。 不法投棄等の不適正処理事案におい ては、現場指導が重要であり、警察と連携 して指導する案件もあることから、警察 0Bである会計年度任用職員の配置は、継 続して必要である。 今後も府内及び近隣中核市との情報交 換を通じて、業務の効率化や事業費の適 正化を適宜図っていく。				継続	

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	資源リサイクル事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境政策室	事業名	ごみ減量・再資源化促進事業		
事業概要 再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付、ごみ減量・再資源化啓発、廃棄物減量等推進員						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1)再生資源集団回収量及び交付額 令和6年度 回収量 5,182,660kg 交付額 36,278,620円 令和5年度 回収量 5,593,526kg 交付額 39,154,682円 令和4年度 回収量 6,129,872kg 交付額 42,909,104円		決算額(千円)	43,187	39,573	36,698	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
(2)ごみ減量・再資源化啓発 ・ 食品ロス削減講習会の実施 1回 ・ 事業者向けごみ減量講習会 1回 ・ 市民向けごみ減量講習会 1回 ・ フードドライブの実施 2回 ・ コンタクト空ケース回収 市内18施設以上で回収 ・ 市民向け環境施設見学会 2回		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
(3)廃棄物減量等推進員数(各年度末) 令和6年度 268人 令和5年度 272人 令和4年度 292人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 新聞等の紙媒体の発行部数が減少するなど再生資源回収量は減少傾向にある。また、子供会の解散等により登録団体数も減少傾向にある。登録団体の解散時には、自治会等で取組を承継するよう呼びかけている。 ごみ減量、再資源化に対する市民等の自主活動を強化・拡大し意識の向上を図っている。今後も、継続的な啓発活動をする必要がある。			今後の実施計画の方向性・内容	継続

2	所管室課	環境政策室	事業名	資源リサイクルセンター管理事業		
事業概要 資源リサイクルセンター管理(指定管理者施設管理)						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1)貸館利用状況 令和6年度 貸館件数 529件、延利用者数 13,377人 令和5年度 貸館件数 666件、延利用者数 15,098人 令和4年度 貸館件数 605件、延利用者数 13,049人		決算額(千円)	55,208	51,672	50,388	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
(2)視察状況 令和6年度 団体数 79団体、視察者数 6,061人 令和5年度 団体数 77団体、視察者数 5,272人 令和4年度 団体数 64団体、視察者数 4,448人		一般財源の比率(%)	99.2	98.9	99.5	
(3)工房運営状況 令和6年度 見学者数 3,757人、実技指導数 3,295人 令和5年度 見学者数 3,942人、実技指導数 3,459人 令和4年度 見学者数 4,868人、実技指導数 4,245人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 若年層を含めた吹田市民全体への認知度の向上に向け、SNS等のインターネットを活用した取組を強化する必要がある。 現在、施設自体の魅力向上と、市民が主体的に環境課題へ関心を持ち行動変容につなげるため、センスアップ案を作成し、各種取組を行っている。			今後の実施計画の方向性・内容	継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名